

## 佐渡市地域公共交通活性化協議会 事業計画

**1 佐渡市地域公共交通総合連携計画の見直しについて** 1,750 千円

現在の佐渡市地域公共交通総合連携計画にまちづくり、観光振興等の佐渡市が実現を目指す政策のために公共交通をどう活用していくかを盛り込んだ地域公共交通網形成計画(仮称)の策定を行う。

(事業費)

調査・分析費 1,750 千円

**2 支線・地区内路線の運行サービスの検証について** 2,500 千円**①路線網の検証・見直し**

佐渡総合病院を中心とした利便性が高くかつ効率的な路線網を実現するため以下の内容に取り組む。

- ・昼の直行便を見直すため、乗継利便性の高い路線網の検討をする。
- ・乗換え拠点における乗換え運賃負担軽減について検討する。
- ・国仲・金丸線の運行について評価検証を行い運行改善を検討する。

(事業費)

調査・分析費 2,500 千円

**②多様な運行主体による生活交通の確保について**

北陸信越運輸局を講師に迎えNPOや社会福祉法人等が主体となって生活交通を補完する自家用有償旅客運送(福祉有償運送、過疎地有償運送)について勉強会を開催する。

**③市営の無料送迎バスの見直しについて**

目的：路線バス「海府線」「七浦海岸線」と相川病院患者輸送車の重複を解消し、効率化を図る。

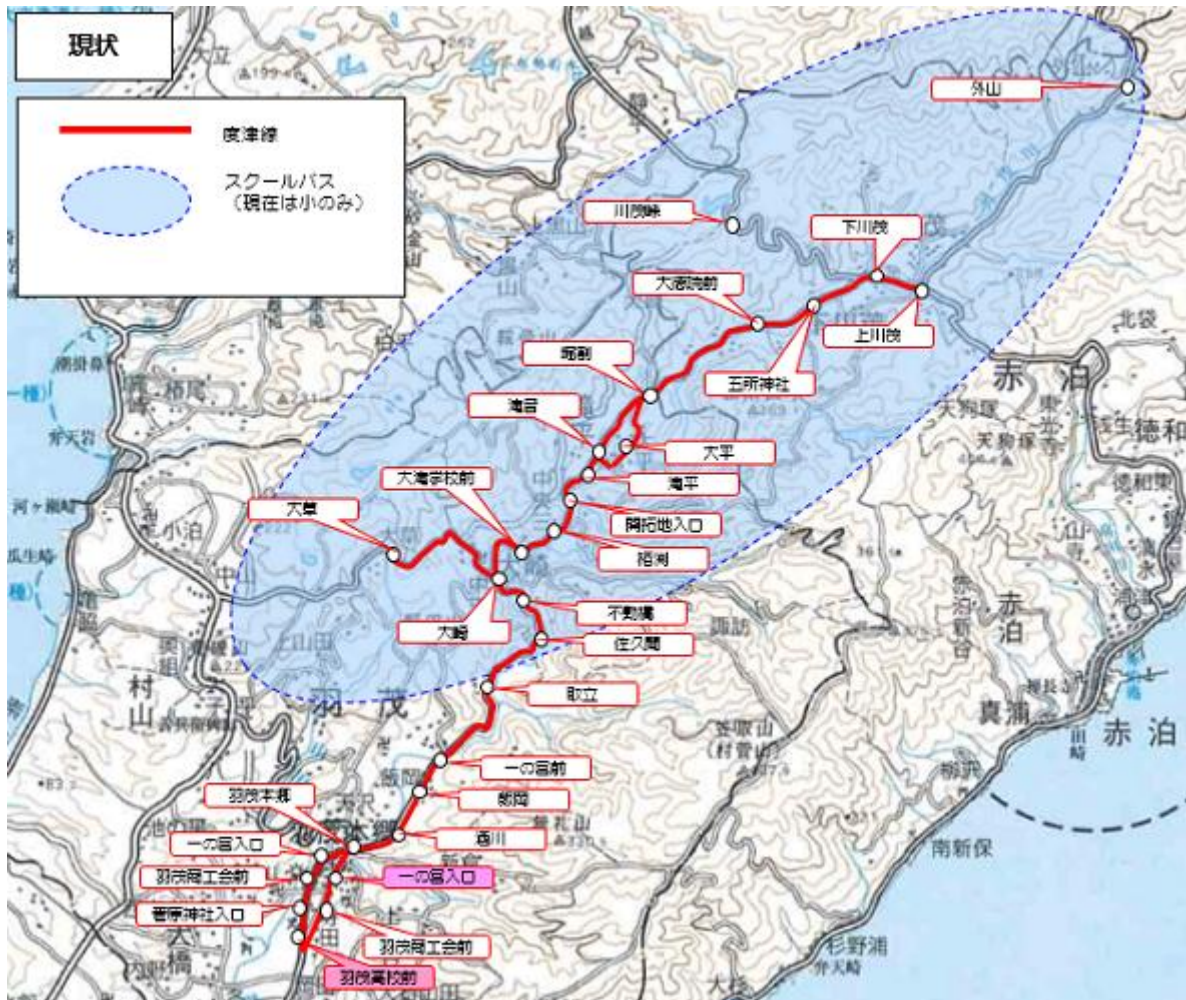
内容：海府線及び七浦海岸線について相川病院延伸を行い、相川病院患者輸送車を整理する。

※両津地区でも無料の福祉バスが運行していたが、両津病院への路線バス乗り入れと路線バス1乗車 200 円の高齢者運賃割引サービスの社会実験スタートと併せて平成 20 年 12 月に運行を廃止している。

#### ④スクールバス等を活用した生活交通の確保について

目的：学生の通学以外の需要が少ない路線バスについて、スクールバスへの混乗や空き時間活用により生活交通を確保することで効率化を図る。

内容：スクールバスの運行エリアが現状の路線バスとおおよそ重複する南部地区（度津線）をモデルに混乗・空き時間活用について検討を行う。



羽茂小学校スクールバス 朝 1 便、帰り 2 便

①羽茂～掘割 15 人乗り（利用児童数 14 人）

②羽茂～上川茂 29 人乗り（利用児童数 15 人）

度津線利用想定 平成 26 年度定期券交付 羽茂中学生（生徒数 6 人）

児童生徒以外の一般利用者（3～5 人程度）過去動態より推測

### 3 公共交通の利用促進について

2,750 千円

目的：路線バスの利用促進やサービス向上に向けたバス事業者の自主的な取り組みを促進する。

内容：

- ・バスの日（9 月 20 日（土））に併せた乗車運賃割引
- ・保育園児、小・中学生等を対象とした体験乗車
- ・通勤利用者をターゲットとした体験乗車（ノーマイカーデー等）
- ・利用者アンケート
- ・その他イベントの実施 等

（事業費）

2,750 千円

## 4 観光二次交通サービスについて

3,500 千円

### ①観光二次交通サービスのPR

目的：フリー乗車券販売目標を 20,000 枚とし利用拡大を図る。

内容：以下の販売促進策を実施する。

- ・販売箇所の拡大  
島内 4 箇所 ⇒ 佐渡汽船（新潟、直江津）、バス車内、宿等
- ・PRの強化  
市、新潟交通、観光協会、佐渡汽船、HP掲載、のぼり設置等
- ・北陸新幹線・カタマラン就航対応  
上越妙高駅⇔直江津港+島内路線バスフリー乗車券  
島内・上越圏域観光バス割引、佐渡汽船旅客運賃割引を加えた商品開発
- ・フリー乗車券の付加価値向上  
フリー乗車券提示による観光施設、商店の割引等の取り組み

また、平成 25 年度調査事業で福島大学学生から提案のあった「観光客に分かりやすいバスサイン」についても取り込みながら路線バスの旅の魅力向上を図る。

※参考事例(右図) ときメキ佐渡・新潟パス

(事業費)

PR費 2,000 千円

トキメキ 佐渡・新潟パス

好評発売中

大人 6,170円、子ども 3,080円

2014年 4月1日～2014年 6月28日  
2014年 4月1日～4月28日、5月7日～6月30日

フリーエリア内の観光施設や温泉施設などの優待メニューが盛り込まれています。

JRグループの観光列車「しんしん号」が乗りこえた観光バスに、フリー乗車券を提示すると、バス料金が大幅に割引されます。

新潟県内観光バス「にいがたバス」が乗りこえた観光バスに、フリー乗車券を提示すると、バス料金が大幅に割引されます。

佐渡汽船旅客運賃割引、上越圏域観光バス割引、JRグループの観光列車「しんしん号」が乗りこえた観光バスに、フリー乗車券を提示すると、バス料金が大幅に割引されます。

トキメキ佐渡・新潟観光協議会

## ②北陸新幹線開業に向けた小木港からの二次交通調査分析

目的：平成 27 年 3 月の北陸新幹線開業とカタマラン就航を契機に観光誘客と地域公共交通の活性化を図る。

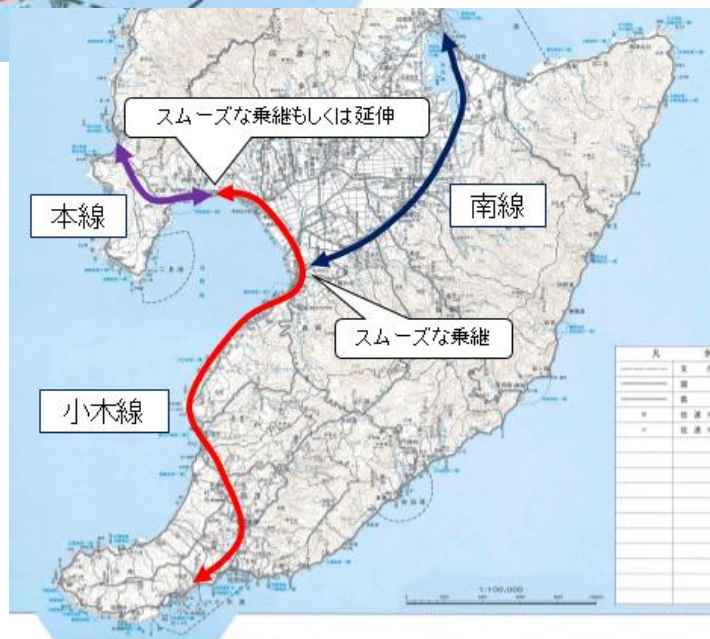
内容：平成 27 年 3 月を見据えた二次交通の整備に向け、必要な調査・検討を行う。

- ・小木港における観光客ニーズ調査
- ・宿根木線の延伸・迂回による観光二次交通の検討
- ・小木港を起点としたデマンド運行の検討（金田新田線の見直し）
- ・小木線、南線を活用した相川・国仲・両津へのスムーズなアクセスの検討（市貸与マイクロバス活用も検討する）



(上図) 小木半島周遊

(右図) 小木港から両津・相川  
国仲へのアクセス



### 参考) 宿根木線利用実績

- ・宿根木線利用者の 40.2%が宿根木の利用者であり、目的地としての需要が高い。
- ・日平均の宿根木利用人数は 3.2 人と多くないが、日によっては 20 人以上の利用がある。

<宿根木線> 小木発 9:55,12:25 沢崎発 11:00,13:32 244 日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
総利用者	205	202	236	254	501	261	150	129	1,938
宿根木	94	85	89	93	260	107	34	17	779
利用割合	45.9%	42.1%	37.7%	36.6%	51.9%	41.0%	22.7%	13.2%	40.2%

※20 人以上の利用 4/29(祭)、6/20(木)、8/19(月)、8/23(金)、8/24(土)、8/25(日)、9/22(日)

### ③世界遺産登録を見据えた金山周遊ルート of 調査分析

目的：世界遺産登録を見据えて需要が見込まれる金山周辺の周遊ルートについて調査し、次年度以降の二次交通網整備に活用する。

内容：金山周辺を循環するバスの需要予測を行い、運行手法、採算性等について検討する。

スケジュール：観光振興課を中心とする相川周遊バス運行の検討組織を立ち上げをして計画的に取り組む。

### ④観光二次交通路線（南線）の調査分析

目的：トキの森公園へは 25 年度から南線を延伸したことにより利用者が急増しているが、延伸効果の他路線への波及効果を確認するため、平成 26 年度は真野新町での乗換状況を詳細に分析する。

内容：真野新町バス停において小木線佐和田行き of 真野新町降車数、南線両津行き of 真野新町乗車数、南線トキの森公園降車数を路線バス乗務員が確認し、乗降数データを元に分析を行う。

（事業費）

調査・分析費 1,500 千円

- ②北陸新幹線開業に向けた小木港からの二次交通調査分析
- ③世界遺産登録を見据えた金山周遊ルート of 調査分析
- ④観光二次交通路線（南線） of 調査分析

## 5 事務費等

2,151 千円

- ・役務費 200 千円（市貸与マイクロバス点検）
- ・費用弁償・報酬等 765 千円（協議会 3 回、幹事会 3 回、講師打合せ 2 回）
- ・事務費等 150 千円（消耗品、通信運搬費等）
- ・予備費 1,036 千円

## 会議等の開催予定

5月20日	第1回 協議会
7月中	第1回 幹事会
9月下旬	自家用有償運送 勉強会
9月20日	バスの日 路線バス利用促進啓発活動（実施内容未定）
10月上旬	第2回 幹事会
10月下旬	第2回 協議会
11月3日	両津・デ・フリマ 公共交通利用促進 PR ブース出展
2月上旬	第3回 幹事会
2月下旬	第3回 協議会